

# キユーピーピット便り

二〇一八年四月号

## 訃報のお知らせ

葬儀施行会社として、改めて故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。 合掌

有限会社 屋久島葬祭  
☎42-2941

故夫末廣修二儀三月四日七十七歳の生涯を  
とじました。

なお、葬儀は(浦屋久島葬祭斎場さくらにて  
執り行いました。

ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

- 喪主 末 廣 誠 子
- 長男 末 廣 章 一
- 長女 吉 永 礼 子
- 二女 末 廣 直 子
- 外親族 一同

故母日高スミノ儀三月六日九十歳の生涯を  
とじました。

なお、葬儀は(浦屋久島葬祭 やすらぎの家  
くりおの里にて執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町栗生一六七番地

- 喪主 日 高 昌 禎
- 長男 日 高 国 士
- 長女 渡 辺 典 敏
- 長女 渡 辺 千 力 子
- 二女 岡 佐 千 代
- 二女 岡 克 則
- 三女 上 村 和 子
- 三女 上 村 泰 平
- 外親族 一同

故父松田和清儀三月九日七十四歳の生涯を  
とじました。

なお、葬儀は(浦屋久島葬祭斎場ブルマーージュ  
にて執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町安房二四〇五番地三六二

- 喪主 松 田 賢 一
- 長男 松 田 典 子
- 二男 松 田 雅 司
- 長女 夏 嶋 和 恵
- 長女 夏 嶋 隆
- 外親族 一同

故夫松崎重男儀三月十二日八十三歳の生涯  
をとじました。

なお、葬儀は(浦屋久島葬祭斎場さくらにて  
執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町楠川一九七

- 喪主 松 崎 テル 子
- 長男 松 崎 リ 子
- 長男 松 崎 雄 次 郎
- 二男 松 崎 香 織
- 二男 松 崎 雄 次 郎
- 長女 勝 本 さ ね
- 長女 勝 本 浩 人
- 外親族 一同

故長男山崎純弘儀三月十四日七十二歳の  
生涯をとじました。

なお、葬儀は自宅にて執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町平内四七一番地

- 喪主 山 崎 容 子
- 妹 山 崎 八 代 子
- 妹 若 田 敦 子
- 妹 若 田 文 子
- 妹 岩 川 由 美 子
- 妹 山 崎 美 智 子
- 妹 安 藤 美 智 子
- 弟 山 崎 泰 信
- 妹 中 村 愛 子
- 外親族 一同

故兄黒江獨洋儀三月十六日七十六歳の生涯  
をとじました。

なお、葬儀は(浦屋久島葬祭斎場ブルマーージュ  
にて執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町安房二七三三番地二四

- 喪主 黒 江 順 子
- 妹 古 市 久 美 子
- 妹 村 上 新 子
- 妹 柴 田 由 美 子
- 弟 黒 江 豊
- 外親族 一同

故義父齋藤富男儀三月十七日九十三歳の  
生涯をとじました。

なお、葬儀は自宅にて執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町志戸子二三

- 喪主 齋 藤 菊 二
- 外親族 一同

故母荒木キクエ儀三月十九日九十七歳の  
生涯をとじました。

なお、葬儀は(浦屋久島葬祭斎場楽養送にて  
執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦八〇番地

- 喪主 千 田 初 美
- 二女 植 松 真 理 子
- 二女 植 松 和 志
- 外親族 一同

故父岡留守儀三月二十三日九十一歳の生涯  
をとじました。

なお、葬儀は(浦屋久島葬祭 やすらぎの家  
くりおの里にて執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町栗生一七一三

- 喪主 岡 留 一 久
- 外親族 一同

故夫岩川敏儀三月二十三日八十歳の生涯を  
とじました。

なお、葬儀は(浦屋久島葬祭 やすらぎの家  
こせだの里にて執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町小瀬田九番地四

- 喪主 岩 川 千 ズ 子
- 長男 岩 川 大 正
- 長女 塚 田 奈 津 美
- 二女 佐 々 木 留 美
- 三女 別 府 千 津 子
- 外親族 一同

故母橋口ヒデ子儀三月二十六日九十六歳の  
生涯をとじました。

なお、葬儀は(浦屋久島葬祭斎場楽養送にて  
執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦一八番地

- 喪主 橋 口 善 治
- 長男 橋 口 善 治
- 二男 橋 口 善 治
- 二男 橋 口 善 治
- 二女 伊 藤 俊 子
- 二女 伊 藤 俊 子
- 三女 橋 口 美 代 子
- 外親族 一同

故父藤山富男儀三月二十七日八十七歳の  
生涯をとじました。

なお、葬儀は自宅にて執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町船行五六番地

- 喪主 藤 山 富 大
- 長女 上 村 万 里 子
- 長女 上 村 万 里 子
- 長女 上 村 万 里 子
- 二男 藤 山 千 万 石
- 二男 藤 山 千 万 石
- 三男 藤 山 成 大
- 三男 藤 山 成 大
- 外親族 一同






故母日高津代子儀三月二十三日八十二歳の生涯をとじました。  
 なお、葬儀は自宅にて執り行いました。ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせいたします。

鹿兒島県熊毛郡屋久島町尾之間二八六番地三  
 喪主 日高 卓郎  
 長男 李 淑子  
 長女 銀 由衣  
 長女 銀 久夫  
 長女 芝 原 雄  
 二女 芝 原 雄  
 二女 芝 原 雄  
 外親 族 同

# 最近増えてます納骨堂に移動!! 残りわずかです お早めに

皆さん、お墓を持っていたり、また土地だけを購入されている方が多いのですが、子供達が島外にいたり、面倒みてる方が高齢になり、その後を心配され、納骨堂に移動する方が増えてます。

納骨堂は、安心と安らぎをご提供します。

蓮	蘭	菊	杉	一人様用
				
間口 75cm 収納骨数 18 管理料(税別) 12,000円 永代使用料(税別) 100万円を <b>特別価格 90万円</b>	間口 60cm 収納骨数 12 管理料(税別) 12,000円 永代使用料(税別) 80万円を <b>特別価格 70万円</b>	間口 40cm 収納骨数 4 管理料(税別) 10,000円 永代使用料(税別) 50万円を <b>特別価格 30万円より</b>	間口 30cm 収納骨数 2 管理料(税別) 10,000円 永代使用料(税別) 30万円を <b>特別価格 10万円より</b>	間口 25cm 収納骨数 1 管理料(税別) 10,000円 永代使用料(税別) 15万円を <b>特別価格 5万円より</b>

※ただし、年間管理料(5年分)・名碑代が別途必要になります。

## 見学自由



故夫岩川幸吉儀三月二十日八十歳の生涯をとじました。  
 なお、葬儀は葬祭アムール屋久島にて執り行いました。ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせいたします。

鹿兒島県熊毛郡屋久島町尾之間五一一  
 喪主 岩川 廣子  
 長男 岩川 健造  
 長男 岩川 典子  
 二男 岩川 清治  
 二男 岩川 子  
 外親 族 同

三月一日以降葬儀施行の御葬家様分です。  
 誤字・脱字等ございましたらご容赦下さいませ。

屋久島納骨堂管理組合 ☎42-2941

### ひとりのひと

夜、携帯のタイムラインを覗いていると、三男の名前で最近思う独り言と長文が掲載されていた。何だろうと思いついてみると、数カ月前の親子の会話の内容を書いていた。読み終わり、親として嬉しく込み上げてくるものがあつたが、同時になんか俺のひとりごととそっくりだと親子感を感じ笑え、そして、俺が亡くなってもひとりごとの後継者はいるなど安心した出来事だった。

そして、一番気になったのが、パートIと書いてあるのだが、もしかしてパートIIとか続編が続くのだろうか。その場合、「息子のひとりごと」と題名は決定だな！笑えた。

### 息子のひとりごと

半年前に、ビジネスの事業に招待されたが最初は、お金もいらぬし頑張れば稼げるよと言われ私も話を聞きに言った。だが、話を聞いていくと色々と思わないといけないものが出てきた。おかしいなと思いついて招待してくれた人に話した。そしたら、それがないうまくいかないとか、成功してる人はみんな使ってるよ！と言われた。私は正直何を信じて良いかわからなくなり身近で話しやすい家族に相談し、そこで父から「お前は料理人になりたいんじゃないのか？料理人はそんな簡単にできるものなのか、そんなならやめてしまえ」と言われた。私はその言葉がありそつちに手を染めず今がある。たしかにみんなお金は欲しいと思うけどそんな簡単に金入ったら苦労しないしあつたとしてそれは自身持った私の仕事ですって言えますか？最近私の幼なじみSさんとMさんが同級生にこれに近いことで誘われてると聞き私はその二人に絶対やるな！と言いました。その二人はだよね！やらないほうがいいよね？と聞いてきました。もし自分の身近にそういう事をやりそうな人がいるならその人にこう言うてあげてください。「あなたの親はその仕事のことを知ってますか？もし稼げるなら私たちより長く生きてる親もしてるでしょ？親を見て下さい。朝から夜遅くまで汗水流して働いてるじゃん！おかしいなと思え！もう一度よく考えてみなと！」

私は、あの時止めてくれて真剣に話をしてくれた父に心から感謝しています。また親のしてる仕事に心から尊敬します。

### 「山野様へ」

いつもひとりごとの本を楽しみにしています。昨年玉ネギの苗があまりよくなくて売る人も買う人も大変でした。でもどうにか玉ネギを食べられるようになりました。少しだけ山野様も食べて下さい。

先日、わざわざ来店され、新聞紙で包んだ新玉ねぎとメッセージを頂いた。昨年は輸送面で問題有り、満足する苗の提供ができなかった。

そんな中、弊社を気遣いながらも苦労してできた玉ねぎを分けていただき、とてもうれしかった。

新聞紙で包んだこの新玉ねぎは、市販の玉ねぎとは比べられないほど輝いて見え、その中に温もりを感じた。

これからは玉ねぎだけでなく、売るだけの販売ではなく、買い育てる人の気持ちになって適正な時期に良質の商品を仕入れ販売していきたいと改めて思っています。

三月は卒業シーズン。私も花屋として屋久島中の学校を回り卒業式演台の花をさして行く。いつも通りステージに上がり、大きな花瓶に花を生けこみ始める。ある小学校では、少人数に聞わらず大きな声で自分の持ち場の言葉を叫ぶ。そして少人数とは思えない大きな声で大合唱。花をさしながらも、胸を熱くさせてくれた。

また、違う小学校に行き花をさしていると、ステージ下から「合掌礼拝との子供の声。振り向くと、手を合わせ合掌しながら頭を下げています。お返しに「合掌礼拝」と頭を下げた。そして、その子供に聞く、先日おばあちゃんのお葬式をしたら驚いた。われ、俺の顔を覚えていた事に驚いた。

最後に、どの学校に行っても感じる事。それは、先生方のイントネーション。数年屋久島にいるけど、変わらない発音。そう「先生、鹿兒島弁ですよ！」

